

せんぞくいけこうえん 洗足池公園

名勝洗足池公園-①

指定：都指定文化財（名勝）平成31年（2019）3月15日指定

所在地：南千束2-1-4他（交通アクセス：東急池上線洗足池駅から徒歩1分）

公開の有無：常時公開（寺社・公共施設を除く）

大田区内最大の池、洗足池を中心とする洗足池公園は、その歴史・風致景観・景観を支えてきた地域活動などを要因として、平成31年に東京都の名勝めいしょうに指定されました。

文化財保護法において「名勝」とは「我が国にとって芸術上又は観賞上価値の高いもの」と定義されています。ここでは、洗足池公園の価値や重要性を構成する3要素について説明していきます。



洗足池公園

1・歴史

洗足池公園には、古くは平安時代から鎌倉時代にさかのぼる源頼朝の愛馬池月の伝承いげつきや日蓮聖人にちれんしょうにんの伝承が残っています。広く世に知られるようになったのは江戸時代以降で、中原街道沿いの景勝地なかはらいかいどうとして賑わい、浮世絵うきよえにも描かれました。現在も、園内には古い歴史を持つ寺社や勝海舟かつかいしゅう関連の文化財などが多数立地しています。これらは別稿にて詳しくご紹介します。

2・風致景観

洗足池公園の大きな魅力は、なんととっても豊かな緑と水を有する公園としての自然景観です。都市開発が進む中、付近に高い建物が無く、古くからの自然が残り多くの生き物が生息しています。スワンボートなどの遊具も人気で、休日は多くの方々が来園し四季折々の風景を楽しんでいます。

3・地域活動

洗足池公園周辺は、緑と水の保全を目的として昭和5年に風致地区に制定され、その管理団体である洗足風致協会せんぞくふうちきょうかいは昭和8年に設立されました。それ以降今日に至るまで、地元住民によって運営され、洗足池公園の保護・維持・推進に最も重要な役割を担っています。この他、洗足池駅商店街での活性化行事や、近隣の小中学校との連携活動も洗足池公園を活用した地域の取り組みです。

この3要素の他にも、休憩所や洗足池図書館などを有している公園としての機能も重要な要素です。

このような名勝洗足池公園を未来へ向かって保護し、活用していくため、令和3年6月には大田区によって「名勝洗足池公園保存活用計画」が策定されました（右二次元コード参照）。

ぜひ市街地の中の貴重な自然や歴史を体感しにご来園下さい。

